

「秀長さんゆかいの地を巡る」ご案内

2025年9月20日

秀長さんをご存じでしょうか。

来年放送されるNHK大河ドラマ「豊臣兄弟」は天下統一を成し遂げた兄、秀吉を支える弟秀長の姿が描かれます。

温厚で冷静沈着と言われている秀長は晩年大和・大納言として郡山城の城主(100万石)を務めました。町民にも人気のあった秀長は地元では秀長さんと呼ばれているそうです。

大河ドラマに先だち、郡山における秀長さんのゆかいの地を企画委員の案内で巡ります。



記

日時：2025年10月3日(金)

集合：近鉄郡山駅東改札口出たすぐの広場 1班2班10時 3班4班10時15分
(JR郡山駅からだと、15分歩きます。)

解散：近鉄郡山駅15:00ごろ

雨天対応：気象庁天気予報前日17時発表奈良県北部午前午後の降水確率60%以上で中止

行程：近鉄郡山駅 → ①大納言塚 → ②大職冠の楠 → ③大織冠鎌足神社
→ ④郡山城(天守台ビューポイント → 追手門 → 城址会館 → 本丸ビューポイント → 柳澤文庫
→ 極楽橋 → 柳澤神社 → 天守台 → 伝羅城門礎石・逆さ地藏 → ⑤春岳院 → ⑥本家「菊屋」
→ ⑦紺屋川・箱本館「紺屋」 → ⑧近鉄郡山駅(解散)

【全行程：5.1km ①～③まで登坂】

持ち物：弁当、飲み物、敷物、雨具、暑さ対策

① 大納言塚



豊臣秀長の墓所。天正19年(1591)、郡山城内で没した秀長はここに葬られました。当初、この近くに豊臣秀吉が建てた大光院<だいきこういん>という菩提寺があり、墓地を管理し菩提を弔っていました。しかし、豊臣家が滅んだあと、大光院は京都に移され、秀長の位牌は東光寺(のちの春岳院)に託されました。

②大織冠鎌足神社



天正13年（1585）秀長が郡山城に入城後多武峰談山神社の
天正13年（1585）9月、秀長が郡山城に入城後、多峯談山
神社の鎌足公の御神霊を城の西北の地に遷座しました。天正
18年（1590）12月、御神霊は多武峯に帰山され、あらためて
御分霊をまつたのが大織冠鎌足神社。創建当時は東の丘陵地
にあったのを、郡山城主の柳沢保光が1789（寛政元）年に移
転改築したのが今の神社で、霊験あらたかな神として広く崇拝
されてきました。

④郡山城

郡山城跡は、安土桃山時代の野面積み石垣が良好な状
態で残る全国でも貴重な城跡で、石垣に寺院の礎石・石仏
など多数の転用石材が使われているのが特徴です。天守台
からは、奈良盆地を360度見渡せる素晴らしい眺望を楽
しめます。また、日本さくら名所100選に選ばれてお
り、毎年春の「お城まつり」には多くの花見客と屋台でにぎわいます。



⑤春岳院

大和郡山の町中に佇む秀長の菩提寺。旧寺号は東光寺と称
し、春岳院の名は秀長の戒名による。本堂は正徳元年
（1711）の再建。寺宝に足利尊氏の念持仏という千手観音を
伝え、狩野貞信[かのうさだのぶ]筆の秀長画像などもあり
ます。



⑥箱本館「紺屋」



秀長さんの特許状(独占
営業権)によって奈良盆地の藍染は江戸時代を通して大
和郡山の紺屋町でしか営業できませんでした。箱本館
「紺屋」は、江戸時代中期に作られた藍染商の町家を再生
した観光施設で、館内には、「箱本十三町」関連資料、金
魚ゆかりの美術工芸品「金魚コレクション」、セルフカフ
ェ、藍染ショップ、藍染体験工房などがあります。

城の台町

城北町

北郡山町

大和郡山市社会福祉会館

大和郡山市役所

近鉄郡山

朝日町

材木町

大和郡山

源九郎稻荷神社

柳町

大職冠鎌足神社

久松禅寺

カーブミラー

大職冠公民館

柳里恭屋敷跡

冠山町

大職冠クスノキ

イトマンスイミングスクール大和郡山校

永慶寺

にしざき内科クリニック

南郡山町

矢田口歩道橋

とんまさ

田北病院

大納言塚

横断歩道

尼ヶ池

LE BENKEI

天理町交差点

MERCI

郡山城跡公園

内堀

西公園

郡山城跡

郡山城情報館

昼食

郡山城 鉄御門跡

春岳院

本家菊屋

花十津川農園

新本館「紺屋」

JCHO大和郡山病院

ゴール

スタート

奈良大和郡山斑鳩線

近鉄線

大和郡山環状線

八口一

西町通り

108

144

266

189



郡山城跡公園

